代々木進学ゼミナール教育ニュース

代進 教育ニュース

YOYOGI SHINGAKU SEMINAR EDUCATION NEWS vol.53

http://yoshin-zemi.com

代々木進学ゼミナールグループ
個別学習カウンセリング
毎週土曜日
午後1:30～
平日 午後4:00からも受付中 ※お電話にてご予約ください。

2016 教育対談 学長対談シリーズ第31回

「学問の独立」を建学の精神に掲げる早稲田大学は、学問と実用の両立を目指して研究大学としての道を歩んできた。さらに、開校して間もない頃から海外の学生を受け入れており、そうした伝統も脈々と培われている。そんな早稲田大学の現在の取り組みやこれからの目標について、総長の鎌田薫先生にお話を伺った。

……ご列席者(敬称略)……
- 鎌田 薫（かまた かおる）……（早稲田大学総長）
- 諸江 一恵……（塾生母親代表）
- 渡邉 千波……（塾生母親代表）
- 嶋田 弘尊……（代進グループ代表）
- 松本 無双……（代進グループ教務部）
- 野口 隆志……（代進グループ教務部）
- 山田 未知之…（「私塾界」代表取締役）

スポーツの早稲田

嶋田　鎌田総長には5年前に一度お話を伺って以来、2度目の対談となりますが、今日はどうぞよろしくお願いいたします。

鎌田　よろしくお願いします。

諸江　昨年は東京六大学野球で春秋連続優勝を達成した他、ラグビーの五郎丸選手が活躍するなど、早稲田のスポーツ分野が注目を集めました。今後はそうした分野に対して、どのようにお考えですか。

鎌田　創立者の大隈重信氏は、体力を鍛え、瞬時の判断を要し、ルールの範囲内で技能を磨くスポーツは人生に活かせることが多いとして、奨励されていました。実は野球やラグビー、サッカーなどのスポーツを日本に導入し、定着させたのは、早稲田や慶応、東大だったのです。最近では、ロシア・カザンの世界水泳で金メダルを獲った瀬戸大也、渡部香生子、星奈津美はすべて早稲田の現役学生および卒業生でしたし、フィギュアスケートの羽生結弦選手や荒川静香選手も本学の学生、卒業生なんです。そうした歴史と実績から、本学には「日本にアマチュアスポーツを広め、レベルを上げていく責任がある」と考えています。したがって、引き続きスポーツ分野にも力を入れていこうと考えています。

しかしながら、早稲田は文武両道を旨としていますので、「早稲田アスリートプログラム」というものを実施して、一定の単位を取っていないとどんなに優秀な選手でも試合に出られないようにしたり、社会人としてのマナーをしっかり身につけさせるようにしています。

早稲田大学総長　鎌田（かまた）　薫（かおる）

鎌田　薫　プロフィール

第16代早稲田大学総長。
1970年早稲田大学法学部卒業後、同大学院法学研究科修士課程、博士課程を経て、1976年早稲田大学法学部専任講師、78年助教授、83年教授。2004年同大学院法務研究科教授、2005年研究科長、2010年より現職。
専門は民法、不動産、フランス法。
2013年より教育再生実行会議座長。その他、法科大学院協会理事長、日本私立大学連盟副会長、文部科学省 科学技術・学術審議会委員、日本土地法学会理事、金融法学会理事などを務める。

大学入試改革の本質

松本　鎌田総長といえば教育再生実行会議の座長でもあるわけですが、多くの人が気になっているであろう、今後の大学入試改革についてお聞かせください。

鎌田　大学入試改革を進めるにあたっては、混乱を引き起こすことがないよう配慮していたつもりでした。しかし、結果的に子供や保護者の方には不安を与えているように感じています。なぜ動揺を与えてまで新たな提案をしたかといいますと、世の中全体が大きく変わってきているためです。例えばものすごいスピードで進んでいるグローバル化も、その1つ。日本の学生の英語力は、ペーパーテストに関していえば世界最高の水準にあるものの、英語で議論ができるかというと、そうした能力は残念ながら多くの学生が持ち合わせていません。ディベート力に長けた早稲田の留学生が日本人学生よりも先に就職の内定を勝ち取ることからしても、それは明らかです。そしてなぜディベート力がないかというと、高校生はどこの大学に入るかを重視してきた。一方、大学はといえば、英語で議論する力を入試で試すことはしてこなかった。つまり、大学入試こそが英語力を弱めているわけです。

生徒母親代表　諸江さん

もう1つ世の中の大きな変化に、工業社会からの脱却があります。これまでの大量生産時代では、決まったことを正確かつ迅速におこなう均質性・画一性が重視されてきました。しかし、これからの社会は人間だからこそできることや、イノベーションが起こせる力を求めています。未知の問題に遭遇したときに、問題の本質を見抜く洞察力と自ら課題を解決していく力、そしてユニークな発想を持って活動していく独創性、素晴らしいアイデアを周囲に論理的に説明できる表現力、さらには人間らしい感性や思いやりといった力が重要です。

教務部　松本

社会全体がこうして地殻変動を起こしているにもかかわらず、日本の教育は昔から変化を嫌う風潮があり、近代化や高度経済成長を支えた教育から抜け出せずにいます。その最たるものが大学入試なのです。イノベーションを必要としている社会が今までにはなかった問題の答えを求めているのに、大学入試では過去の知識の記憶量ばかりをはかっているとしたら、どうなるでしょう。さらにはマークシートのように、どんな問題にも唯一無二の正解があるという意識を叩き込むような教育を続けていても、想像性や創造性、洞察力や表現力といった力は一向に育たないでしょう。もちろん「知識」は不可欠ですし、たくさんなければ発想も豊かになりませんが、それと同時に既存の知識や技術を疑ったり、それらを組み合わせればこんなに新しい考え方が生まれてくるといった独創性や「知恵」も大切です。

生徒母親代表　渡邉さん

代進グループ代表　嶋田　弘尊

これからの社会で求められる人材を育てるためには、まず大学入試が変わらなければなりません。そうすれば、初等中等教育も自ずと変わっていきます。初等中等教育から高等教育、社会人教育までが現代社会・未来社会に適合的になるようにするため、あるべき大学入学者選抜制度の姿を考えましょうというのが教育再生実行会議の提言の趣旨であり、センター試験の出題方法をどうするかといった狭い枠組みではなく、これからの社会が求める力を一生にわたって伸ばし続けられるよう、伸びと学び続けられる教育

教務部　野口

裏面へ続く

私塾界　山田

新規開校 特典多数

代々木進学ゼミナール 上北台校 高校部
東大和市立野3-641-3 鈴建ビル3F ☎042-561-0008

代々木進学ゼミナール 大塚校
八王子市大塚624-1 サンライズ大塚2F・B室 ☎042-679-5355

代々木進学ゼミナール 陽光台校
相模原市中央区陽光台5-3-18 リアーグビルT-B ☎042-756-0141

個別指導ys 中神北校
昭島市中神町1371-59 ジョイエスビル202 ☎042-544-8866

個別指導ys 羽村動物公園校
羽村市富士見平2-2-16 富士見コーポ101 ☎042-579-1130

代々木進学ゼミナールグループ 少人数制クラス授業 個別指導 映像授業
小学生 中学生 高校生
新年度生募集中!!

EE kids エブリデイ イングリッシュ
英語力がお子様の未来を変えます!!
中学英語準備講座
スタートはお子さまの英語学習歴にあわせて
目標は中学校の定期テストで満点!!
「エブリデイ イングリッシュ 中学英語準備講座」は、タブレットを用いた新しい英語教材です。
小学生対象 新コース
タブレットを全員にプレゼント!!

大好評!! 新・学力アップシステム
新・学力アップシステム @will アット・ウィル
自分のペースで予習も復習もテスト対策もバッチリ対応!!
映像授業
1回の映像授業は25分程度。集中して受けられる、確実な分量です。
テストシステム
授業後すぐに定着確認。学習効果が「すぐ」わかる。
※詳しくはお問い合わせください。

やれば伸びることを教えたい。
YOSHIN 代々木進学ゼミナール
詳しくは 代進ゼミ 検索
都立代進ゼミ　個別指導 代進パーソナル　個別指導 代進ハイブリッド　代進エース　代進高等予備校
お問い合わせは 0120 FreeDial 0120-331-476
受付時間:午前10時～午後8時30分(月～土)
代進グループ各校舎は、すべて「代々木進学ゼミナール」の本部直営です。
※代々木進学ゼミナールではしつこい電話勧誘は一切おこなっておりません。※代々木個別指導○○と名乗る団体とは一切関わりはございません。
詳しいご案内は代進各校舎へお電話下さい。
(本部)TEL.042-544-5499(代)

時代の変化に対応するためには知識プラス体験型の学習が必要です。

YOYOGI SHINGAKU SEMINAR EDUCATION NEWS

環境を整えるため、今後も大きな視野に立って改革を実行していきたいと思っています。

体験学習の必要性

渡邊　これから大学入試が変わるのにあたり、親は子供をどのように導いていったらいいのでしょうか。

鎌田　まず、覚えるべき基礎知識はしっかり覚えさせるというのが基本ですね。あとは自由に伸び伸びと子供自身がしたいことをさせてあげるといいと思います。今の日本の子供は自己肯定感が低く、将来の夢もないといわれていますが、それでは、少し寂しいですね。ですから、ぜひ好きなことを見つけさせて、それを思いっきり究めさせてあげてください。知識を詰め込むことは大前提として必要ですが、試験にうまく答える学びだけをしていてはこれからの時代を生き抜くのは厳しいでしょう。

嶋田　今、お話しされたように、私たちもテストでいい点を取る指導だけではまずいと思っており、体験を通した学びも実践しています。例えば、夏休みを利用した5泊6日の合宿には留学生にも参加してもらい、異文化に接する機会を与えたりしてします。でもどうすればそうした活動をもっと子供たちの学びに活かせるかと、現在、試行錯誤しているところです。

鎌田　とても素晴らしい活動をされていますね。最近では主体的な学習である「アクティブラーニング」という言葉をよく聞きますが、これは日本でも、法科大学院がアメリカ型の教育を取り入れた結果、大学においては徐々に一般化しつつあります。それを今のところ一番「生懸命おこなっていると思うのが、小学校ですね。そして中学、高校になるにつれて受験の悪影響で（笑）、段々と型にはまっていっていく。

ただ、アクティブラーニングは難しくて、講義型の授業だと1時間で50くらいの新しい知見が得られるのに対し、アクティブラーニングで取り扱えるテーマは1時間に数個くらいと少ない。このスタイルで成果を挙げるには、家庭で十分に予習してくることが必要です。子供たちは普通の授業に比べると退屈しないかもしれませんが、予習をしないで参加すれば結果として何も残らない可能性もある。果たして学校の先生に子供の意欲をかき立て、アクティブラーニングで必要な知識を定着させ、考え方を身につけさせることができる十分な能力があるかどうか。それに学校だけでは時間が足りないだろうという議論もあって、塾で実践してみてはどうかという意見もあります。それに、学校ではきめ細かい対応ができないので、授業がもの足らない子どもや授業についていけない子供を支援するためにも、塾の果たす役割はこれからますます大きくなるでしょうね。

それから、体験型の学習については、早稲田でも、これを大いに重視しています。かつての早稲田は面倒見がよくありませんでした（笑）。大学生は大人だという前提で、大学側がとやかく言わずに自分たちの好きなことを学ばせていたのです。その結果、一昔前までは、他学にはない個性を発揮する学生がいっぱいいて、そんな学生同士が、お互い刺激し合っていたものです。

しかし、今の学生には「決められたことしかしてはいけない」という教えが浸透しているようで、大学が手を差しのべる必要が出てきています。例えば留学生や社会人との接点をつくってあげたり、企業に行って社長の前でプレゼンをしたり、ボランティアをしたりする機会を設けてあげると、教室では味わえない感動に目をキラキラさせる。でもそれだけで終わってしまうと自己改革につながらないので、「体験の言語化」をさせて、論理化させることで、自分のものへと定着させるようにしています。貴塾でなさっていることを今お聞きして、同じだなと感じました。

留学生倍増計画

野口　申し上げたように、留学生との交流も積極的に行っている当塾ですが、早稲田大学では2032年の創立150周年までに1万人の留学生受け入れを目標に掲げられていると伺いました。今後、その目標はどのように達成されていくのでしょうか。

鎌田　現在、本学の留学生は約5000名で、出身国は100か国に上ります。年々その数は増えてきていますので、このままいけば2032年までに1万人という目標は達成できると思っています。そもそも本学には留学生を積極的に受け入れる伝統が脈々と受け継がれていて、早稲田の前身となる東京専門学校が創立された2年後の1884年には、すでに海外の学生を受け入れていました。戦前には、在学生の20％が留学生だったこともあるといわれています。

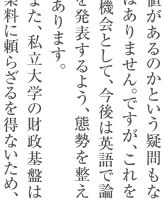
1人の学生を海外へ留学させれば、その学生が異文化交流から多くのことを学びますが、1人の優秀な留学生を受け入れて、日本人学生と同じ教室で学ばせれば20人、30人といった日本人学生が異文化に接することができる。そのため本学では、2032年1万人の目標に向けて今後も積極的に留学生を受け入れていくつもりです。

しかし、留学生の受け入れを進めるためには、インフラの整備が必要です。アメリカ、中国、韓国といった大学の多くは学生寮が整備されていて、留学生の受け入れ体制が万全なのに対し、日本では宿舎の確保が難しく、本学でも、サマーセッションでは応募者の半分以上をお断りしている状態です。また、政府は30万人の留学生受け入れを目標に掲げていますが、日本語能力が十分に高い外国人学生が世界に30万人もいるとは思えません。今後より多くの留学生を呼ぶためには、日本語能力が不十分でも学びたいことを英語などで学べる環境を整えていかなければならないと考えています。

グローバル化ですべきこと

渡邊　「グローバル化」という言葉を聞かない日はないくらいですが、私自身がグローバル化についてよく理解できていません。なので、グローバル化の重要性をいくら子供に伝えたとしても、ピンとこないと思います。今後、大学入試も変わるなかで、子供に何を学ばせたらいいのでしょうか。

鎌田　私が小さい時も頭ごなしに「これからはとにかく英語だ」と言われて、あまり納得がいかず、むしろ反発していましたので、今の子供もそうなんだろうなと思います。ですから貴塾が取り組んでらっしゃるように、留学生との交流をはじめとする体験をさせてみたらいかがでしょうか。「この人の言っていることをちゃんと知りたい」「世界には知らない文化がたくさんある」という感覚を実際に味わわせれば、自ら英語や異国文化について学ぼうとする意欲が生まれてくる可能性も高くなるはずです。反対に無理矢理に英語を学ばせたり、大学進学のことばかり言っていたら嫌になってしまうでしょう。



それから、グローバル人材とは英語が話せる人、ということではありません。例えば村おこしをするにしても、農業をするにしても、英語が話せるかどうかよりも、国際環境の中で将来の在り方を考えたり、いかに自分たちのことを世界にアピールするかといった視点を持ったりすることが重要です。そしてそれ以上に大切なのは、価値観がまったく違う人がいるということを理解し、うまくコミュニケーションを図っていくことです。日本全体がそういったことにどう対応するかが、今まで以上に大切になっていくんだろうと思います。

強い分野にさらに磨きをかけていく

山田　英国誌『タイムズハイヤーエデュケーション』が発表した今年の世界大学ランキングで、日本の大学が相対的にランキングを下げていますが、早稲田としては今後どういった取り組みをすることで評価を上げていこうとお考えですか。

鎌田　今年から格付けの基準が大きく変更されたことが日本の大学に不利に働いたのですが、日本の大学のなかで一番順位を下げたのが早稲田でした。その大きな原因の1つとなったのが被引用英語論文の数の少なさです。本学は医薬農学系の学部を設けていないのに対し、そのランキングで評価対象とされた論文の5割以上が医学、生命科学、薬学、農学といった分野です。また、例えば『源氏物語』について日本語で詳しく書いたものより、英語で簡単に書いたものを多く提出したほうがランキングを上げられるというのは、果たして学術的に価値があるのかという疑問もなくはありません。ですが、これをいい機会として、今後は英語で論文を発表するよう、態勢を整えつつあります。

また、私立大学の財政基盤は授業料に頼らざるを得ないため、1人の教員ができるだけ多くの学生を教えないと成り立たません。そのために教員1人あたりの学生数が多くなるのも、ランクが低くなる原因です。ただし、本学では、さまざまな工夫を通して、少人数の対話型授業を充実させています。本学の授業の81％が50人以下、45％の授業が20人以下になっています。見かけ上の教員学生比率が教育の質の低さにつながると考えるのは間違っていると思います。

また、分野別に見れば、QS社のランキングで、早稲田は人文社会科学系を中心に5分野が100位以内、21分野が200位以内に入っていますし、卒業生のEmployability（就業力）は世界33位、日本で1位と高く評価されています。今後は、早稲田の誇る国際的なネットワークを活かしながら、すでに強みを発揮している分野にさらに磨きをかけ、それを他の分野に波及させていくつもりです。

世界水準の研究大学・早稲田を目指して

松本　今お話しされたように早稲田は人文社会科学系に強みを持っていて、文科省が発表した科研費の分野別採択件数ランキングにおいては、理工系も含めて13分野で1位を獲得されました。そうした成果を出されるに至ったこれまでの取り組みや、今後の展望についてお聞かせください。

鎌田　日本の私立大学は伝統的に「教育」を中心にしてきました。そもそも私立大学の財政基盤は授業料に頼らざるを得ないため、1人の教員ができるだけ多くの学生を教えないと成り立たないのです。しかし、早稲田は、同時に研究大学であることも目指してきましたっ存じのように、早稲田の建学の精神は『学問の独立』『学問の活用』『模範国民の造就』というものです。学問を学問として究めると同時に、その応用の道を講ずることで時代の進展に寄与することを目指してきたのです。科研費の分野別採択件数が13分野で1位になりましたが、これは国内の全大学・研究機関の中で5番目の多さで、私立大学随一の研究大学ではないかと自負しています。

また、今は「RU11」といって旧7帝大と早稲田、慶応、東工大、筑波という日本の代表的研究大学で緩やかな連携を結んでいます。その連携を今後はますます強化していくつもりです。

さらに、早稲田は国際的ネットワークが充実しているのも大きな強みです。日本文学研究の世界の中心となっているアメリカのコロンビア大学と本学とは、非常に強い絆があります。コロンビア大学東アジア言語文化研究科は、本学出身の角田柳作が創設したという縁もあって、本学大学院文学研究科との間でダブルディグリー制度を実施しており、同大学の博士課程学生は、原則1年は早稲田で学ぶことになっていて、コロンビア大学に帰って卒業したら早稲田のよさを体感した人たちが世界に散らばっていくのです。そうした流れは、早稲田が単独で海外へ発信するよりも、何倍もの波及効果があります。今後も早稲田が誇る強い国際ネットワークを頼りに、世界で早稲田の知名度を何十倍にも増幅させながら、日本の学術発展に貢献していければと思っています。

■代々木進学ゼミナールグループ
お問い合わせ・お申し込みはお近くの校舎まで

NEW 陽光台校　相模原市中央区陽光台5-3-18 リアーグビル1-8　☎042-756-0141
NEW 大塚校　八王子市大塚6-24-1 サンライズ大塚2F・B室　☎042-679-5355
NEW 上北台校 高校部　東大和市立野3-641-3 鈴建ビル3F　☎042-561-0008
NEW 中神北校　昭島市中神町1371-59 ジョイエスビル202　☎042-544-8866
NEW 羽村西校　羽村市富士見平2-2-16 富士見コーポ101　☎042-579-1130
南田園校　福生市南田園2-5-39 田園ビル2F　☎042-530-3200
拝島校　昭島市松原町4-12-8 慶ビル2F　☎042-546-3511
河辺校　青梅市河辺町5-10-8 Y-5ビル　☎0428-23-7323
武蔵村山校　武蔵村山市本町4-5-1 キャーワビル1F　☎042-561-9100

瑞穂校　西多摩郡瑞穂町武蔵199 K-2ビル3F　☎042-557-6631
小川校　小平市小川東町1-34-14 小川ビル2F　☎042-347-4775
武州長瀬校　入間郡毛呂山町南台5-1-1 ステーションプラザ101　☎049-295-6701
上北台校　東大和市上北台2-1-19 ダイエー上北台ビル1F　☎042-561-0008
武蔵増戸校　あきる野市伊奈482-3 ワンダービル1F・2F　☎042-596-5592
町田木曽中原校　町田市木曽東1-49-20 ドルチェ101号　☎042-726-8044
八王子楢原校　八王子市楢原町601-2　☎042-621-5377
多摩境西校　町田市小山町3668　☎042-772-5299
東秋留校　あきる野市小川619-1 森田ビル1F　☎042-559-2949
高幡不動東校　日野市三沢3-7-4 セレーサ1F　☎042-591-1219
堀之内校　八王子市堀之内2-1-10 1F　☎042-677-5255
千代田校　相模原市中央区千代田7-1-2-6　☎042-759-3622

大野台校　相模原市南区大野台5-16-7　☎042-757-7544
町田根岸校　町田市根岸2-26-26 2F　☎042-793-2800
東大和向原校　東大和市向原4-27-9 泉長ビル1F　☎042-561-5001
秋川校　あきる野市秋川1-7-8 渡辺ビル1F　☎042-559-1210
小作校　羽村市小作台1-21-15 青木ビル3F　☎042-578-1021
青梅長渕校　青梅市長渕7-333　☎0428-24-7433
青梅大門校　青梅市大門3-22-7 グレース大門102号　☎0428-31-8033
八王子中野校　八王子市中野上町5-37-2 サニーハイツ中野1F　☎042-625-7499
西立川校　昭島市東町1-16-37 オーエムビル1F　☎042-522-8130
砂川七番校　立川市柏町3-1-1 中野屋ビル3F　☎042-534-6375
武蔵藤沢校　入間市下藤沢51-7 K・Rエコー2F　☎04-2965-7500
金子校　入間市大字南畑420-6 入間市大字南畑420-6　☎04-2936-2655

立川校　立川市羽衣町2-32-4 ベル西国立1F　☎042-521-2552
青梅新町校　青梅市新町8-29-6　☎0428-31-3151
玉川上水校　東大和市桜が丘4-43-1 中村第1ビル3F・4F　☎042-590-7627
多摩境校　町田市小山町1153-7 萩原第2ビル 2F　☎042-797-9444
町田常盤校　町田市常盤町3179-7 栄ビル　☎042-798-1666
武蔵村山西校　武蔵村山市残堀5-131-3 マンション川崎1F　☎042-560-1006
武蔵砂川校　立川市一番町4-19-1 サンビルディング山本102　☎042-560-9444
たかの台校　小平市たかの台44-8 長谷川ビル2F　☎042-342-3002
弁天通り校　国分寺市西町2-6-15　☎042-577-1555
代進エース(昭島校)　昭島市田中町562-8 昭島昭和ビル3F　☎042-544-1355
エース2(高麗川校)　日高市高麗川1-4-20 JR高麗川駅前　☎042-985-0657
代進高等予備校　昭島市松原町4-12-8 慶ビル3F　☎042-808-2457

●代進グループ各校舎は、すべて「代々木進学ゼミナール」の本部直営です。※代々木進学ゼミナールではしつこい電話勧誘は一切おこなっておりません。※代々木個別指導○○と名乗る団体とは一切関わりはございません。